村議ひぐちの
村民かわらばん
2008年 11月 18日 第 48号 発行責任者・ひぐち重喜
〒401-0502 山中湖村平野 1698 TEL&FAX 0555-65-7023
ホームページ http://h-kawaraban.jugem.jp/
メール: amir@mfi.or.jp

いったい、なにを チェンジ・変革するのか？

税金の有効活用その②

良い面でも悪い面でも、世界をリードしてきたアメリカは、ハワイ出身でアフリカ系黒人のバラク・オバマ氏を大統領に選出しました。

アメリカ発の金融危機は、全世界に波及し、経済活動の停滞から、国民の生活も塗炭の苦しみと将来への不安に直面しています。今まさに、アメリカによる政治、軍事、経済の一極支配が終わろうとしています。この影響は、日本に、そして山中湖村にも未曾有の危機として迫っています。

すでに、山中湖村の財政内容に重大な影響を与えている ファナック(株) は、今年度の純利益予想を164億円下方修正し、前年度より18.7%減益になると発表しています。

当然、今後山中湖村の税収見込みにも、極めて深刻な影響が懸念されます。

その意味で、山中湖村も、過去にとらわれない、あらゆる面での根本的 チェンジ（変革）が必要だと、痛感しています。

◉臨時議会の報告

10月27日に臨時議会が召集され、以下の請負契約他3議案を審議しました。

●平野保育所建設工事請負契約
契約金額…… 4億267万5千円
契約の相手…タカムラ建設株式会社
＜入札実態＞…（一般競争入札）

●老人福祉センター改修工事請負契約
契約金額……9、954万円
契約の相手……川上建設株式会社
＜入札実態＞……（一般競争入札）

応札者と入札金額および（落札率）

●平野保育所建設工事
予定価格……406,770,000円
○タカムラ建設…402,675,000円（98.99%）
川上建設……404,250,000円
芙蓉建設……405,615,000円

●老人福祉センター改修工事
予定価格……101,850,000円
○川上建設…… 99,540,000円（97.7%）
芙蓉建設……100,800,000円
羽田建設……100,275,000円
富士急建設…101,010,000円
タカムラ建設…辞退

◆審議内容からの疑念

●平野保育所建設の入札は、8月に2回不成立になっており、3回目で落札。

●しかし、過去2回の不成立理由は、設計会社（総合建築設計事務所）が、常識では考えられない積算ミスを行ない、建設予定が2ヶ月おくれている。

●積算ミス等による上乗せ変更額は、約5千万円以上である。

●この設計会社は、基本設計時の会社ではなく、本設計の入札時に指名された会社である。

●一般競争入札と銘打ちながら、「県の格付基準A級で富士北麓管内に本店・支店を有する者」と条件が付けられており、応募範囲を2回目には全県下まで広げておきながら、今回は富士北麓管内に縮小限定し、一般競争入札の趣旨に反する（実態は「制限付き一般競争入札」）。

●村長が「私は、地元業者を考えており指名競争入札にしたかった」と答えたため、「では地元でA級業者は何社あるか」と質問すると総務課長が「一社です」と回答し、さらに「その会社名は？」と問うと「タカムラ建設です」と回答した（「何をか言わんや」である）。

●一般競争入札でありながら、98.99%いう高い落札率は、極めて談合の疑いが高く（全国オンブズマン協会の見解）、公正な税金の使い方として村民の理解は得られない。

◆採決

●樋口と高村文雄議員が「元々、保育所建設には賛成である。しかし、5千万円以上の見積ミスからはじまったこの契約経緯は、不透明で不可解だ。さらに、落札率98.99%などは、とうてい村民の理解が得られない」と反対討論をおこなう。

●樋口のあと、羽田一三議員が「5千万円の上乗せ内容には問題があるが、子育て支援等も勘案し本契約には賛成する」との賛成討論をおこなう。

●採決は、樋口と高村文雄議員以外の議員が賛成し、不可解な請負契約は可決された。

●村民の率直な意見を伺いたい。

税金を有効利用するために

政治には、住民から貴重な税金を公平に集め、それを納税者である住民の幸せな暮らしを実現するために、適正かつ公正に配分する使命があります。

でも、山中湖村の政治はどうでしょうか？

樋口は、これまで税金のムダ使いや不正な使い方について数々の指摘をしてきました。この際、政治の役割と税金の使い方について、現状の問題点から将来への可能性までを、根本から問い直してみます。

○まず、「政治の役割」とは何か？

①住民の暮らしと安全を守ること
②将来への希望と安心を保証すること
③他の周辺地域と仲良く共生すること

○そのための「基礎要件」とは？

①**明確なプラン**……目的に合った政策と予算（税金）の適正配分
②**村長と役場職員**…政策の実行能力と、住民サービスへの充実
③**職員と議会**……チェック（検査・監査・調査）能力と審議能力

○山中湖村では、三大基礎要件が機能しているか？

●残念ながら、樋口は、いずれも不充分であると考えています

○では、どうすればよいか？ 基本編

❶ **事業計画の、根本的見直し。**
●既存事業の行政評価をする
●ムダな部分を徹底的に排除する
●今後の事業の費用対効果を検証する

❷ **役場機能を大改革する。**
●村長のリーダーシップと職員の意識改革
●能力本位の人材配置
●女性や若者の積極的政治参加
●情報公開の徹底

❷ **議会の機能を大改革する。**
●議会の全内容を公開する
●議会の模様を中継放送する（テレビやインターネット放送）
●議員活動を促進するため、政務調査費を認める（議員のスキルアップ）

○公共事業はどうなるか？ 応用編

❶ **土木・ハコ物事業からの脱却する。**

❷ **水と緑の公共事業を積極的に推進する。**
●湖の水質浄化と湖畔周辺の整備

❸ **里山・奥山の整備事業を展開する。**
●景観および環境整備を目的とした土木事業に転換
●人と動物の共生環境を整備
●新しい産業と雇用の場を創出

○将来の可能性はどうか 希望編

❶ **情報通信網を村内全域に整える**
●緊急災害時の高度な防災体制となる
●企業誘致の情報通信インフラが整備される
●リゾート・オフィスの条件が構築される
●山中湖村の自然、歴史、レジャー情報等を、村内どこにいても入手できる

❷ **『健康』を中心テーマとした村づくり**
＊「かわら版47号」『健康立村への提案』を参照

❸ **文化、芸術の世界的交流の場としての山中湖村に変身**
＊次の機会に詳細を紹介します。

＜今回の結論＞

◎たとえ、どんなに財政が裕福でも、またどんなに立派な計画があったとしても、

①**役場改革**（村長のリーダーシップと職員の意識改革）、

②**議会改革**（審議能力の向上と公開の実現）の根本的変革なくして、村民の幸せな暮らしと山中湖村の明るい将来は実現されません。

◎そして、村民自身も、しがらみや馴れ合いからの変革が、まず必要です。

お知らせ 先日、「山中湖村の明日を考える会」なる名称で、村の財政データ（誤りもある）を記載したカラー刷りの紙面が郵送されてきましたが、樋口は、この件に関して全く関与しておりませんので、ここにご報告いたします